

令和 3 年 11 月 30 日 【火曜日】

# ちゃれんじ・ふっと・ぼーる

## フットサルって楽しい！

指導教室設置学校長協会（札幌特協）が後援。

指導者は、Fリーグ（日本フットサルリーグ）のエスポラーダ北海道の選手等。道教委や札幌市教委と協力協定を締結し、監督、コーチ、選手を道内の小学校に派遣、体育

出前授業を実施している。特別支援学校を対象に行うのは同事業が初めて。

この日は、エスポラーダ北海道の金井監督が西岡南小を訪れ、特別支援学級の1〜6年生15人を指導。「大事なことはチャレンジ。失敗はダメじゃないし恥ずかしいくない。たくさん失敗しながらチャレンジを繰り返して」と声をかけたあと、全員に1つずつボールを渡し、歩きながらボ

札幌市立西岡南小学校（佐藤正行校長）は26日、同校で「ちゃれんじ・ふっと・ぼーる」を実施した。札幌市をホームタウンとするフットサルクラブ「エスポラーダ北海道」の金井一哉監督が来校し、フットサルの基本や楽しさを伝えた。



フットサルの基本を学んだ

### 札幌市西岡南小特別支援学級で

ルを上に取り上げキャッチする運動、さらにジャンプしながらキャッチする運動といったウォーミングアップを実施。その後、ドリブル↓線の上をドリブル↓たるまさんが転んだ（笛を吹いたら静止する）↓早いドリブル↓カラーコーン4つをジグザグに通ってからシュート↓先生にパスを送り、返されたパスでシュートと、次々と基本的な動きを繰り返した。

「早いドリブルのときは遠くに蹴って走る」「シュートはとにかく思い切り打つ」「走るスピードもシュートの威力になるよ」といった具体的でコツをつかみやすい金井監督の助言と、テンポのよい展開で、無理なく楽しく動作を習得した子どもたちは「早く試合がしたい」と待ちきれなくなるほど。

その後、数人ずつのチームに分かれ、ゴールキーパーなしの試合を実施。どの子ども夢中になってボールを追い、全力で走り、ときにはボールを奪い合ったり、ぶつかったりしながらも、時間いっぱいまで喜々としてフットサルを楽しんだ。

佐藤校長は、「どの子どもも笑顔で楽しんでいたことが何よりありがたい」「特別支援学級の子は人の指示を聞き、そのとおりに動く機会が少ないが、きょうは集中して指示を聞き、力いっぱい走り、心も開放し、体だけじゃない様々な学びがあった」と話し、「今後この活動が広がってほしい」と期待を寄せた。

本年度の実施期間は来年2月末ごろまで。来年度も、実施校を拡大して行う予定。